

麻疹（はしか）患者の発生について

堺市において1名の麻疹（はしか）の感染が確認されましたので、以下のとおりお知らせします。

当該患者の疫学調査を行った結果、以下施設を利用しており、不特定の方と接触している可能性があることが分かりましたので、広く注意喚起をするものです。

なお、当該患者は、令和6年3月1日（金）に東大阪市において麻疹（はしか）陽性が判明した患者と同一の航空機（エティハド航空 EY830 便）に搭乗しており、堺市保健所にて検査した結果、麻疹（はしか）陽性が判明しました。

1 患者の概要

- (1) 年代・性別：20代・男性
- (2) 主な症状：発熱、発疹、コプリック斑（現在自宅療養中）
- (3) 発症日：令和6年3月3日（日）
- (4) 発生届出年月日：令和6年3月7日（木）（検査確定：令和6年3月7日（木））
- (5) ワクチン接種歴：なし

2 感染性のある期間に患者が利用し、不特定多数の方と接触した可能性のある日時及び施設

- 3月3日（日） 午前10時～正午 ユニコロ泉北パンジョ店（堺市南区茶山台1丁3番1号 パンジョ4階）
3月5日（火） 午前10時～正午 ユニコロ泉北パンジョ店（堺市南区茶山台1丁3番1号 パンジョ4階）

3 麻疹（はしか）について

- 感染すると、約10日後に発熱や咳、鼻水といった風邪の様な症状が現れます。2日から3日間ほど熱が続いたあと、39℃以上の高熱と発疹が出現すると言われています。
- 感染経路は、空気感染、飛沫感染、接触感染で、感染力は非常に強いと言われています。
- 麻疹（はしか）は予防接種で防げる病気であり、ワクチン接種は個人でできる最も有効な予防方法です。麻疹（はしか）の定期予防接種（第1期：1歳児、第2期：小学校就学前の1年間）をまだ受けていない方は、かかりつけ医に相談し、早めに予防接種を受けましょう。

4 市民の皆様へ

- 上記感染の可能性のある日時に施設を利用された方で、令和6年3月26日（火）までに発熱・発疹等、麻疹を疑う症状が現れた場合は、事前に医療機関に連絡の上、マスクを着用し、公共交通機関の利用は避けていただき、速やかに受診してください。

- 麻しんの潜伏期間は、約 10 日から 12 日（最大 21 日間）で、麻しん患者と接触した場合には、接触後 3 週間（21 日間）注意が必要です。
- 施設への直接のお問い合わせはお控えください。感染症法の趣旨に則り、個人情報保護の観点から患者やその家族・関係者等が特定されないよう、また、施設に対する風評被害がないよう特段のご配慮をお願いいたします。

5 医療機関の皆様へ

- 発熱や発疹を呈する患者が受診した際は、麻しんの予防接種歴の確認等、麻しんの発生を意識した診療を行い、臨床症状等から麻しんと診断した場合には、速やかに保健所に発生届の提出をお願いします。
- 患者（疑い含む）は個室管理を行う等、麻しんの感染力の強さを踏まえた院内感染対策の実施についても併せてお願いします。

問 い 合 わ せ 先	担 当 課：健康福祉局 保健所 感染症対策課 電 話：072-222-9933 ファックス：072-222-9876
----------------------------	--